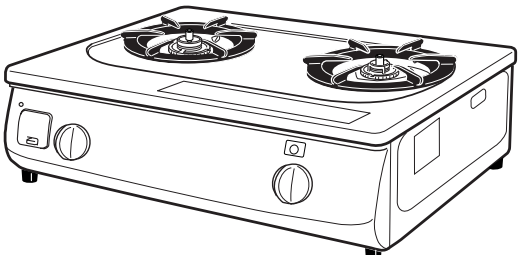


取扱説明書

保証書別添

よく読んで
安全に正しく
お使いください。



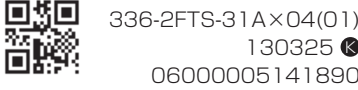
Siセンサー-コンロ

ご愛用の皆様へ

このたびはリンナイガステーブルをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
●ご使用の前にこの取扱説明書を最初から最後までよくお読みいただき安全に正しくお使いください。
●この取扱説明書と別添の「保証書」の内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
●幼いお子様にはさわらせないでください。
●この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをされませんと著しく寿命が短まります。
●この製品は国内専用です。海外では使用できません。
●取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所に再購入してください。

もくじ

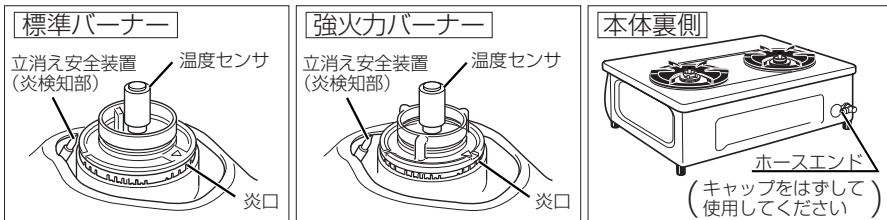
- 各部のなまえと特長
 - 安全上のご注意（必ずお守りください）
 - 機器の設置
 - 使いかた
- 点火・火力調節・消火のしかた
- コンロ
- 使用中に自動的に弱火になったときは
- 使用中に消火したときは
- 故障かな？と思ったら
 - お手入れのしかた
 - 別売部品のご紹介
 - 交換部品（お客様に取り替え可能な消耗部品）
 - 長期間使用しない場合
 - アフターサービス
 - 仕様



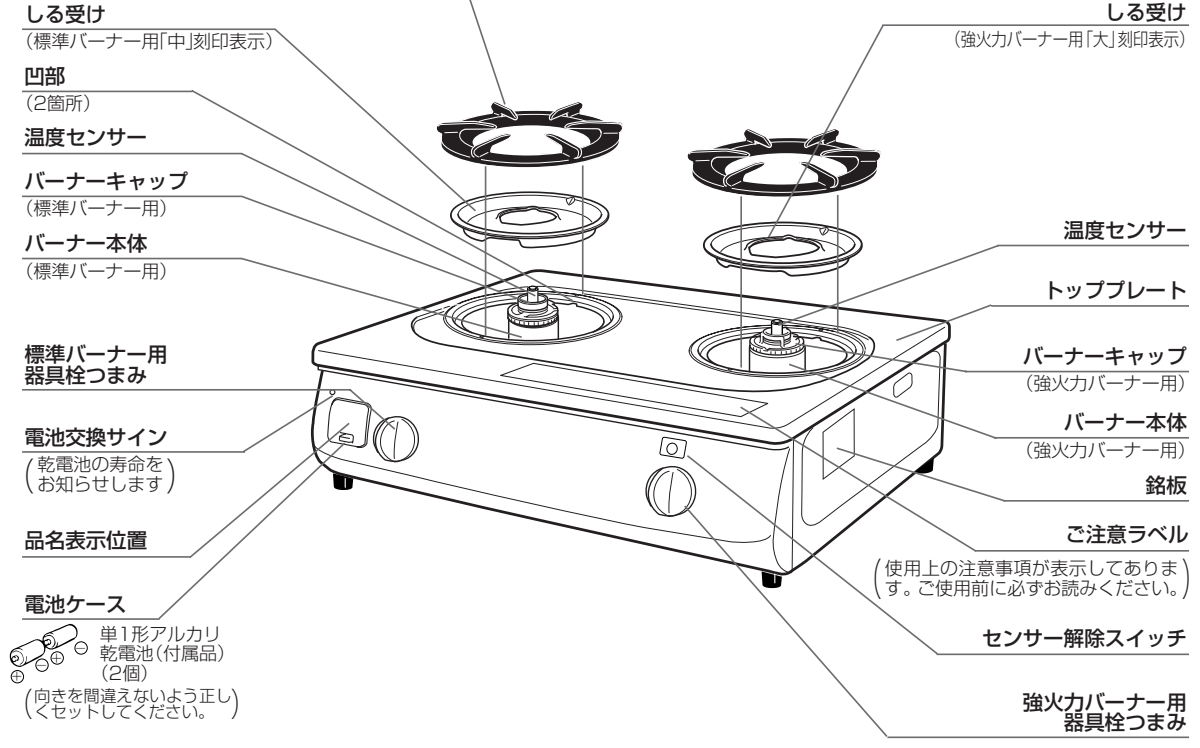
336-2FTS-31A×O4(O1)
130325 ●
06000005141890

1 各部のなまえと特長

・図のように正しくセットしてください。-Rタイプ（強火力バーナーが右側のタイプです）。-Lタイプは強火力バーナーと標準バーナーが左右逆になっています。



ことく（左右共通です）
（▲表示の箇所は、必ずしもトッププレート内に必ずしもは、かたつきがないようセットします。）



コンロ部の主な機能

- 天ぷら油過熱防止機能
天ぷら（バーナー）などの揚げものを調理中、調理油が過熱されても、自然発火温度に達する前に自動消火します。（必ず指定以上の油量でご使用ください）
- 焦げつき消火機能
（標準バーナー・強火力バーナー）
天ぷら（バーナー）の調理中、なべ底が焦げついてくると、なべを傷める前に自動消火します。（なべの材質、調理物の種類、火力によって焦げ付きの程度は異なります。）なべ底にこんがや竹炭などをしいた調理では焦げつき消火機能が正常に働かないことがあります。
- コンロ消し忘れ消火機能
（標準バーナー・強火力バーナー）
点火してから約2時間経過後に自動消火し、消し忘れを防ぎます。

コンロ器具栓つまみもどし忘れお知らせ機能

天ぷら油過熱防止機能などの安全機能により消火したときに、器具栓つまみはもどきません。もしも忘れると、1分毎にブザーが「ピピッ」とら鳴ってお知らせしますので消火の状態にもどしてください。ただし、他のバーナーを使用中は、ブザーは鳴りません。

2 安全上のご注意（必ずお守りください）

＜安全に正しくお使いいただくために＞

この取扱説明書および製品には、お使いになる人や他人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくための重要な内容が説明してあります。
●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

- ▲危険
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- ▲警告
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
- ▲注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

- ▲この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- この絵表示は、してはけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

▲危険

- ガス漏れに気づいたら絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの入、切、電源プラグの抜き差し、周辺の電話を使用しない
炎や火花が引火し、爆発事故を起こすことがあります。
- ガス漏れに気づいたらすぐに使用を中止する
①すぐに使用を中止しガス栓を閉める。
（ガス栓つまみのないガスコンセント接続の場合は、ガスコンセントからソケットをはずす）
②窓や戸を開けガスを外へ出す
③もしよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

▲警告

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない
●表示のガス種が一致していない場合、不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
●銘板は機器本体の側面に張ってあります。わからない場合はお買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所に問い合わせてください。
●転居されたときも、ガスの種類の銘板の表示と一致していることを確認してください。
- 設置するときは可燃物との距離を確実に離す
距離が近すぎると火災の原因になります。（火災予防条例で定められているので、必ず守ってください。）可燃物との距離が守れない場合は必ず防熱板を取り付けてください。また表面がステンレス板やタイルの場合でも内部が可燃性の場合は必ず防熱板を取り付けてください。防熱板についてはお買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所にご連絡ください。
- 設置後機器の周囲を改築する場合も可燃物との距離を確実に離す
（可燃物の場合）

- 機器の上や周囲にはペットボトル、調理油、スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど燃やしやすいものを置かない
また機器本体の下に新聞紙やビニールシートなどの燃やしやすいものを敷かない
また電源コードを通さない
熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発したり火災の原因になります。
- 地震、火災、または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用中途中で消火したい場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉める（つまみのないガスコンセントの場合は、ガスコンセントからソケットをはずす）
「故障かな？と思ったら」に正しい処置をする。

- 機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを使用しない
引火して火災の原因になります。
- 火をつけたまま離れたり、外出、就寝をしない
調理中ものも異常過熱し火災の原因となります。とくに揚げもの調理をしているときはその場を離れないでください。離れるときは必ず消火してください。

- ガスコードを使用する場合は、器具用スリムプラグおよびガスコードの取扱説明書に従って接続する
「ガスコードなどでコンセント接続する場合」を参照してください。
間違った接続はガス漏れの原因になります。
- ガス用ゴム管（ソフトコード）を使用する場合は検査合格マークまたはJISマークの入っているものを使用し、ひび割れたゴム管、古いゴム管は使用しない
ガス用ゴム管は耐久性に欠けガス漏れの原因になります。ビニール管は絶対に使用しないでください。またガス用ゴム管はときどき点検して古くなった場合は取り替えてください。

- ガスコードの長さが合わないために高温部に触れたり、機器の下を通したり、機器に触れたりする場合はガスコードを使用しない
ガスコードが過熱され、ガス漏れの原因になります。
- ガス用ゴム管（ソフトコード）は赤い線まで差し込んでゴム管止めでしっかりと止める
しっかりと止めないでガス漏れの原因になります。

- ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは、高温部に触れたり、折れたり、ねじれたりしないようにできるだけ短くして使用する。また、ガス用ゴム管（ソフトコード）、ガスコードは機器の下を通さない。また、他の機器で加熱されるような所にも通さない
使用時は周囲が高温になりゴム管がやけどでガス漏れの原因となります。
- 絶対に対造・分解は行わない
改造・分解は一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になります。

- コンロをおおような大きな鉄板やなべは使わない
一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- アルミはく裂する受け、省エネことくなどの補助具は使わない
一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。

- 焼き網は使用しない
しる受けにしまった油などが焦げたり、機器の異常過熱のおそれがあります。
- 火がついたまま持ち運ばない
火災、やけどの原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

▲注意

- コンロ使用中、使用直後しばらくはトッププレートに触れない
高温になっていますのでやけどをする原因になります。
- 点火操作時や使用中はバーナー付近に顔を近づけない
炎や熱で顔をやけどするおそれがあります。
- 衣類などの乾燥や練炭の火起こしなど調理以外の用途には使用しない
衣類が落下し火災や過熱・異常燃焼による機器焼損の原因になります。
- 点火操作をしても点火しない場合は器具栓つまみを再度点火操作する
すぐに点火操作すると周囲のガスに点火しやすくなり燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。
- バーナーキャップを水洗いしたときは水気をよくふき切ってからセットする
炎口が詰まったまま使用すると異常燃焼の原因になります。
- 機器を水につけたり、水をかけたりしない
不完全燃焼・故障のおそれがあります。
- 水平で安定性のよい丈夫な台の上に設置する
不安定な所や傾いた所に設置すると機器が傾いてやけどやけがのおそれがあります。
- 強い風の吹き込む場所に設置しない
点火不良や機器内部の振動や安全装置が正しく作動しないなどの原因になります。
- しる受け・バーナーキャップは誤ったセットで使用しない
しる受けが傾いたり、バーナーキャップを正しく取り付けず、点火しなかったり、炎の赤い炎や炎火を起すことになり、また、器具の中に炎がもくもくして危険です。
- コンロには石炭いもつは使用しない
異常過熱による機器故障の原因になります。
- 温度センサーのお手入れはこまめに行う
また上下にスムーズに動くことを確認する
なべ底に密着しなくなり調理油が溢火する場合があります。また、動きが悪いとなべなどが傾き、お湯などがこぼれやけどをする原因にもなります。なべ底の油を調理する場合は300℃以上必要です。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。
- 温度センサーへの衝撃は避けよう
なべ底にセンサーが密着しなくなり、調理油が溢火する場合があります。

天ぷら油過熱防止機能について

- 天ぷら油過熱防止機能とは天ぷら、フライなどの揚げものの調理で、消し忘れなどによる調理油の過熱を防止する機能です。温度センサーがなべ底の温度を監視し、調理油が燃える温度になる前に自動的に火を止めます。このとき、ブザーが鳴ってお知らせします。揚げもの調理をするときは、必ず温度センサーがなべ底に密着していることを確認し、適切ななべの種類・容量をお守りください。適切な使用方法をお守りいただければ、調理油の過熱による発火を防止できなくなります。
- ▲警告
■強火力バーナーのセンサー解除モードは揚げもの調理には使用しない
調理油の温度が高くなり、発火するおそれがあります。

▲警告

- 温度センサーの上面となべ底が密着していないときは使用しない
中華なべ補助どくごとくを使用すると温度センサーがなべ底に密着しない場合があります。
- 底が広く浅いなどでの油調理は、油の温度が上がりやすいため使用しない
温度センサーがなべ底に密着しないため、油の温度が上がりやすくなります。
- 耐熱ガラス容器、土なべなど熱の伝わりにくいなべでの油調理はしない
温度センサーがなべ底に密着しないため、油の温度が上がりやすくなります。
- 温度センサーとなべ底が密着しているか確認する
温度センサーが傾いていたり、なべの間にさき間があると、温度センサーがなべ底温度を正しく検知できず発火や途中消火の原因になります。
- 冷凍食材をなべの底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
なべの底面中央（温度センサーがなべ底に密着した状態で揚げものを調理すると、温度センサーがなべ底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
- 複数回使った調理油で揚げものをしない
調理油の量が少なくなったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。特にフライパンなどの底が広いなべで揚げものをする際は、食材全体が調理油につかずに、発火するおそれがあります。
- 揚げ過ぎない
豆腐などの水分の多いもの、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものなどは、特に注意してください。調理油の量が少なくなったり、減ってきたりすると、発火するおそれがあります。
- 揚げものは食材全体がつかまるまで調理油（必ず200mm以上）を入れて行う
揚げものの食材全体がつかまるまで調理油（必ず200mm以上）を入れて行う。揚げものの食材全体がつかまるまで調理油（必ず200mm以上）を入れて行う。揚げものの食材全体がつかまるまで調理油（必ず200mm以上）を入れて行う。

- コンロで焼き網やコンロをおおような鉄板は使わないでください。機器の過熱によりトッププレートやことく・バーナー・しる受けを早くしてしまいます。
- 煮こぼれさせると機器を早くいためず、煮こぼれさせた場合は機器がためてからでる限り早くふき取ってください。
- みそ汁を温めおすときは火力を弱めに、よくかき混ぜながら温めてください。
- 強火で急ぐ調理をするときは、強火で長時間で使用する場合は、まれになべがごとくにくつすることがあります。
- 調理中になべをのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。
- 熱くなったなべなどをラベルの上に置かないでください。ラベルが熱で変色したり、損傷したりすることがあります。

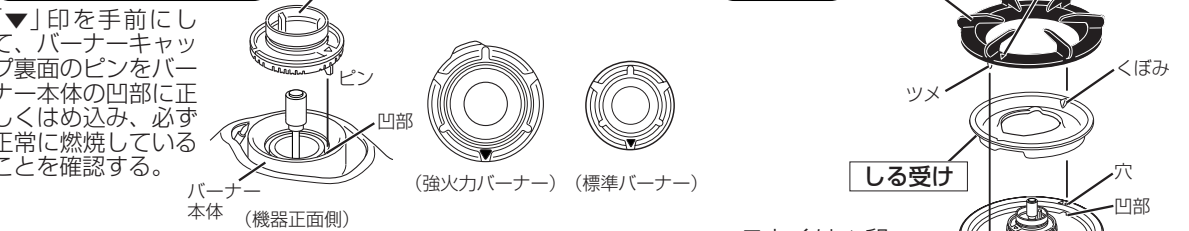
3 機器の設置

設置前の準備と確認

- 型式の呼び・ガス種・製造年月は、機器右側面の銘板に表示してあります。
- 機器銘板のガス種（ガスグループ）と供給ガスが合っているか確認します。
- 輸送のため各部分に紙や包装材料がはさまっているのを全部取り除いてください。

部品の取り付け

バーナーキャップ



- ※バーナーキャップが浮いたり傾いたりすると点火不良や炎が不ぞろいになったり異常燃焼などが起こる場合もあります。
- しる受けのくぼみ（2箇所）をトッププレート（2箇所）の穴に合わせ、がたつきがないようにセットしてください。
- バーナーキャップは消耗品です。薄くなったたり変形して炎が不ぞろいになったり場合は交換が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりの当社事業所に相談してください。

▲注意

- しる受け・バーナーキャップは正しくセットする
バーナーの炎がしる受けの下にもぐり込み火災や機器焼損の原因になります。
- ことくは正しくセットする
誤ったセットをするとなべなどが不安定になり、傾いたりします。

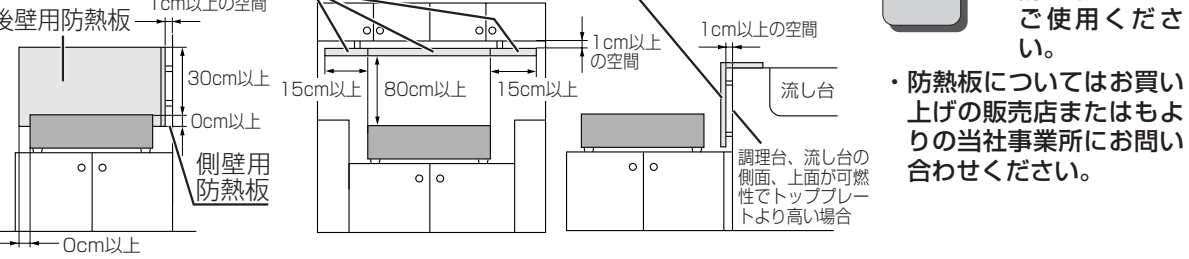
単1形アルカリ乾電池2個（付属品）

- 乾電池のセットのしかた（お願い）
※乾電池は、機器本体が冷えている状態でセットしてください。無理に引っ張らないでください。
- 乾電池のセットのしかた（お願い）
①乾電池の正负极（+、-）を正しくセットしてください。
②乾電池の正负极（+、-）を正しくセットしてください。
③乾電池の正负极（+、-）を正しくセットしてください。
- 乾電池は充電・分解・加熱・火の中へ投入しない
●新旧・異種の乾電池は混用しない
●器具を廃棄する場合は、乾電池は必ずショートや発熱、液漏れ、破裂により、けがややけどの原因になります。
●乾電池に記載してある注意事項をよくお読みください、正しくお使いください。

設置場所および周囲の防火措置

- 強い風の吹き込まない場所・丈夫で水平な場所
- 付近にカーテンなど燃えやすいものがない場所
- 機器の上に湯沸し器のない場所
- 機器を使用した場合ガス栓が加熱されない場所
- 落下物の危険のない場所
- 器具の上に樹脂製の照明器具のない場所
- 壁に可燃物（木製の壁、モルタル、タイル、ステンレスなどを張り付けた壁、タナなど）のある場所
- トッププレートより上面の側面および後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より100cm以上離す。
- 上記の距離がたもてない場合は壁面に別売の防熱板を取り付けて設置する。

防熱板について



ゴム管（ソフトコード）の接続

- ガス用ゴム管（ソフトコード）（内径φ5mmφ、JISマーク入り）を用い、折れたり、ねじれたりしないようにして、できる限り短く（2m以下に相当にゆとりをもたせる）ガス栓と機器のホースエンドとを接続します。このときゴム管は赤い線までしっかりと差し込み、ゴム管止めで固定してください。また機器本体に触れないようにして接続します。
- ガス栓を開け接続部からガスの臭いがしないことを確かめ、ガス栓を開ける。

ガスコードなどでコンセント接続する場合

ガス機器側の接続

- 機器のホースエンドをコンセント化してガスコードでコンセント接続する場合
左図のように、まず別売の器具用スリムプラグを梱包台紙の裏面に記載してある取扱説明書に従って機器のホースエンドに取り付け、次にガスコードの器具用ソケットを器具用スリムプラグに「カチッ」と音がするまで押し込みます。

ガス栓側の接続

- ①ガス栓を開けるときのコンソント継手を「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
- ②ガス栓を開けるときのコンソント継手のすべりリング（白色）を手前に引く

- コンソント継手を差し込むとガス栓が開きます。
- コンソント継手ははずれるとガス栓が閉まります。
- ガスコード接続する場合は、ガス栓側がカチップラグになっていないと接続できません。従来のガス栓で使用する場合は、別売のホース栓栓用プラグが必要です。

ガスコンソントについて

- ◆ふたを開ける
ふたの右端を押します。
- ◆取りははずす
右端にあるふたを押します。

